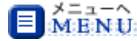




長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1796秒です。



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3																										
開講期間																													
必修選択	必	単位数	1.0																										
時間割コード	20120590017006	科目番号	05900170																										
授業科目名	●ドイツ語 I (L1~6_F1~3)																												
編集担当教員	山下 哲雄																												
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄																												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄																												
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																												
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																										
教室	[全]302																												
対象学生(クラス等)	L1~6_F1~3																												
担当教員Eメールアドレス	yamatsesu@mrd.biglobe.ne.jp																												
担当教員研究室	非常勤講師控室																												
担当教員TEL																													
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間																												
授業のねらい	ドイツ語の基本文法を習得し、ドイツ語を通してドイツに興味を持つ。																												
授業方法(学習指導法)	<p>ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。</p> <p>次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。</p>																												
授業到達目標	学生がドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず滑らかに話すことができるようにすること。																												
授業内容	<p>ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語であり、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードも授業に盛り込む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ビデオでドイツを紹介、ドイツ語で自己紹介</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>動詞の現在人称変化(1)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>動詞の現在人称変化(2)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>冠詞と名詞(1)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>冠詞と名詞(2)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第2回から5回までの復習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>現在人称変化(3)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>人称代名詞・冠詞類</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>定形の位置</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第7回から9回までの復習</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>前置詞</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>話法の助動詞</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	ビデオでドイツを紹介、ドイツ語で自己紹介	2	動詞の現在人称変化(1)	3	動詞の現在人称変化(2)	4	冠詞と名詞(1)	5	冠詞と名詞(2)	6	第2回から5回までの復習	7	現在人称変化(3)	8	人称代名詞・冠詞類	9	定形の位置	10	第7回から9回までの復習	11	前置詞	12	話法の助動詞
回	内容																												
1	ビデオでドイツを紹介、ドイツ語で自己紹介																												
2	動詞の現在人称変化(1)																												
3	動詞の現在人称変化(2)																												
4	冠詞と名詞(1)																												
5	冠詞と名詞(2)																												
6	第2回から5回までの復習																												
7	現在人称変化(3)																												
8	人称代名詞・冠詞類																												
9	定形の位置																												
10	第7回から9回までの復習																												
11	前置詞																												
12	話法の助動詞																												

	13 動詞の3基本形(1)
	14 動詞の3基本形(2)
	15 第11回から13回までの復習
	16 第16回 定期試験
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』 著者：本郷建治 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

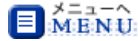


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1795秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590017007	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (P1・2)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14:30-16:00		
授業のねらい	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業方法(学習指導法)	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業到達目標	ドイツ語検定5級合格		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	アルファベット 発音の規則	
	2	動詞の現在人称変化	
	3	定動詞の位置	
	4	名詞の性	
	5	格変化(一格、四格)	
	6	重要動詞	
	7	不規則動詞	
	8	複数形	
	9	三格	
	10	前置詞	
	11	複文	
	12	人称代名詞	
	13	二格	
	14	再帰動詞 再帰代名詞、	
	15	まとめ	
16	試験		
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		

教科書・教材・参考書	清野 智昭『ドイツ語の時間—読解編く読めると楽しい！>』郁文堂 (2011) 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況(30%) 講義中の取り組み方(30%) ○定期試験(40%)
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ	ドイツ語の基礎の基礎
学習・教育目標	独検5級合格
備考(URL)	http://h-semi.com/
備考(準備学習等)	予習、復習は必須



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水2																														
開講期間																																	
必修選択	必	単位数	1.0																														
時間割コード	20120590017008	科目番号	05900170																														
授業科目名	●ドイツ語 I (E1~8)																																
編集担当教員	仲井 幹也																																
授業担当教員名(科目責任者)	仲井 幹也																																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井 幹也																																
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																																
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																														
教室	[全]204																																
対象学生(クラス等)	E5~10																																
担当教員Eメールアドレス	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp																																
担当教員研究室	経済学部本館524研究室																																
担当教員TEL	095-820-6399																																
担当教員オフィシアワー	授業の前後																																
授業のねらい	授業のねらい:ドイツ語の初級文法を現在時制(十未来形)の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。																																
授業方法(学習指導法)	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。																																
授業到達目標	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。																																
授業内容	<p>教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味をしらべておくこと。第3回以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけることではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>辞書の説明、発音</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>定冠詞、不定冠詞、格の用法</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>不規則動詞、命令形</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>名詞の複数形</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>nichtとkein、目的語の語順</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>前置詞</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>形容詞と形容詞の名詞化</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>話法の助動詞、未来形</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>序数と日付の表現</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>分離動詞、非分離動詞</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>従属接続詞と並列接続詞</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>間接疑問文</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	辞書の説明、発音	2	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞	3	定冠詞、不定冠詞、格の用法	4	不規則動詞、命令形	5	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞	6	名詞の複数形	7	nichtとkein、目的語の語順	8	前置詞	9	形容詞と形容詞の名詞化	10	話法の助動詞、未来形	11	序数と日付の表現	12	分離動詞、非分離動詞	13	従属接続詞と並列接続詞	14	間接疑問文
回	内容																																
1	辞書の説明、発音																																
2	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞																																
3	定冠詞、不定冠詞、格の用法																																
4	不規則動詞、命令形																																
5	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞																																
6	名詞の複数形																																
7	nichtとkein、目的語の語順																																
8	前置詞																																
9	形容詞と形容詞の名詞化																																
10	話法の助動詞、未来形																																
11	序数と日付の表現																																
12	分離動詞、非分離動詞																																
13	従属接続詞と並列接続詞																																
14	間接疑問文																																

	15	ランデスクンデ
	16	まとめと定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	小島／仲井『やあ、みんな！』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)	
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8～1.2＝成績)従って授業をおろそかにする人は、試験が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してください。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590017005	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (D1・2_K1~4)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	D1・2_K1~4		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	ドイツ語の初級文法を身につけ、ごく単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一の目的です。さらに、単なる試験科目としてではなく、異文化との関りや他者理解についての基本的視座を形成するための有効な方法として、言語学習に積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えています。		
授業方法(学習指導法)	基本的には教科書に沿って文法を説明し、練習問題の解答・解説を通して基礎を定着させます。適宜補足のための板書や資料配布を行います。		
授業到達目標	ドイツ語の基本的なしくみを理解し、辞書を用いながら平易な文の訳や作文ができるようになること。またあいさつや自己紹介など、ドイツ語で簡単な受け答えができるようになること。		
授業内容	発音、あいさつ、簡単な受け答えを学んだ後、教科書に沿って文法の学習を進めます。既習事項の復習や問題の答え合わせでは学生を指名して質問に答えてもらうので、油断せずに毎回復習と予習をして授業にのぞんでください。それでも外国語を学ぶ初期の段階で間違いや分からないところがあるのは当然です。難しければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	第1回(4月5日)授業の説明。ドイツ語のアルファベット、あいさつ。	
	2	第2回(4月12日)発音。人称代名詞の1格。	
	3	第3回(4月19日)第1課(動詞の現在人称変化)。	
	4	第4回(4月26日)第1課続き。自己紹介の練習。	
	5	第5回(5月10日)第2課(名詞と冠詞)。	
	6	第6回(5月17日)第2課続き。第3課(複数形)。	
	7	第7回(5月24日)第3課続き。男性弱変化名詞。	
	8	第8回(5月31日)第4課(不規則動詞の現在人称変化、命令)。	
	9	第9回(6月7日)第4課続き。人称代名詞の3格と4格。	
	10	第10回(6月14日)第5課(冠詞類)。	
	11	第11回(6月21日)第6課(前置詞)。	
	12	第12回(6月28日)第6課続き。並列接続詞と従属接続詞。	
13	第13回(7月5日)第7課(語法の助動詞、未来形)。		

	14	第14回(7月12日)第7課続き。復習問題。
	15	第15回(7月19日)数詞、西暦・日付・時刻の表現。
	16	第16回(7月26日)定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	森公成、渡辺広佐「クヴェレ・ドイツ文法」(同学社)。	
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、平常点(遅刻の有無、授業態度等)30%の配分で評価します。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590017001	科目番号	05900170																				
授業科目名	●ドイツ語 I (M4～6)																						
編集担当教員	目 正勝																						
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]204																						
対象学生(クラス等)	M4～6																						
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	096-322-0277																						
担当教員オフィスマナー	質問等はメールにて随時受け付ける																						
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。																						
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																						
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																						
授業内容	<p>テキストは15課から成っている。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで、前期は第7課ぐらいまで進む。まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、形容詞の格変化が続く。動詞の過去形、過去分詞形まで進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 発音練習の続き。第一課、動詞の現在人称変化 I。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第二課、定冠詞と名詞・複数形</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第三課、不定冠詞と冠詞類・並列接続詞。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第三課の続き、接続詞など、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第四課、現在人称変化 II・命令形。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第四課の続き、命令形など、練習問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。	2	第2回 発音練習の続き。第一課、動詞の現在人称変化 I。	3	第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。	4	第4回 第二課、定冠詞と名詞・複数形	5	第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。	6	第6回 第三課、不定冠詞と冠詞類・並列接続詞。	7	第7回 第三課の続き、接続詞など、練習問題。	8	第8回 第四課、現在人称変化 II・命令形。	9	第9回 第四課の続き、命令形など、練習問題。
回	内容																						
1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。																						
2	第2回 発音練習の続き。第一課、動詞の現在人称変化 I。																						
3	第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。																						
4	第4回 第二課、定冠詞と名詞・複数形																						
5	第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。																						
6	第6回 第三課、不定冠詞と冠詞類・並列接続詞。																						
7	第7回 第三課の続き、接続詞など、練習問題。																						
8	第8回 第四課、現在人称変化 II・命令形。																						
9	第9回 第四課の続き、命令形など、練習問題。																						

	10	第10回 第五課、人称代名詞・前置詞。
	11	第11回 第五課の続き、前置詞など、練習問題。
	12	第12回 第六課、形容詞の格変化。
	13	第13回 第六課の続き、形容詞の格変化、練習問題。
	14	第14回 第七課、動詞の3基本形・過去人称変化。
	15	第15回 第七課の続き、過去人称変化など、練習問題。
	16	第16回 前期末試験。
キーワード		
教科書・教材・参考書		「文法システム15 一新改訂版」 西本美彦、西本アンゲリカ、高田博行 著、同学社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。

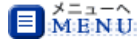


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1796秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590017003	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (T1~5)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	T1~5		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語 I で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 4月6日 つづり字の読み方と発音 挨拶をする	
	2	第2回 4月13日 "	
	3	第3回 4月20日 動詞の人称変化、文の作り方 知り合いになる	
	4	第4回 4月27日 "	
	5	第5回 5月11日 文法上の性と格 食べ物の注文をする	
	6	第6回 5月18日 "	
	7	第7回 5月25日 冠詞類 買い物の相談をする	
	8	第8回 6月1日 "	
	9	第9回 6月8日 不規則変化動詞、命令形 食事の相談をする	
	10	第10回 6月15日 "	
	11	第11回 6月22日 前置詞の格支配 どこに行くか尋ねる	
	12	第12回 6月29日 "	
	13	第13回 7月6日 複数形 市場で果物などを買う	
	14	第14回 7月13日 "	
15	第15回 7月20日 前期のまとめ(文法の補足)		

	16 第16回目 7月27日または8月3日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書・教材・参考書	「新生ドイツ文法」 V6 在間進 朝日出版社 独和辞典は当面は不要。授業開始後必要に応じて紹介する。
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金4																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20120590017002	科目番号	05900170																
授業科目名	●ドイツ語 I (M1～3)																		
編集担当教員	目 正勝																		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]204																		
対象学生(クラス等)	M1～3																		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																		
担当教員研究室	非常勤講師室																		
担当教員TEL	096-322-0277																		
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受け付ける																		
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。																		
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																		
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																		
授業内容	<p>テキストは13課から成っている。「読章」も含めて2回～2回半の授業で1課を終えるぐらいのペースで、前期は第6課ぐらいまで進む。 まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、否定文の練習、前置詞の用法などが続く。分離動詞の用法まで進む。 「読章」も練習問題として各課少しずつ読み進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 発音練習の続き、第一課、人称代名詞、動詞の現在人称変化、seinなど。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、定動詞の位置など、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第一課の続き、「読章」、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第二課、名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格変化など。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第二課の続き、haben、werdenの現在人称変化、「読章」、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第二課の続き、練習問題。第三課、名詞の複数形、動詞の現在人称変化の特殊形など。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。	2	第2回 発音練習の続き、第一課、人称代名詞、動詞の現在人称変化、seinなど。	3	第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、定動詞の位置など、練習問題。	4	第4回 第一課の続き、「読章」、練習問題。	5	第5回 第二課、名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格変化など。	6	第6回 第二課の続き、haben、werdenの現在人称変化、「読章」、練習問題。	7	第7回 第二課の続き、練習問題。第三課、名詞の複数形、動詞の現在人称変化の特殊形など。
回	内容																		
1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。																		
2	第2回 発音練習の続き、第一課、人称代名詞、動詞の現在人称変化、seinなど。																		
3	第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、定動詞の位置など、練習問題。																		
4	第4回 第一課の続き、「読章」、練習問題。																		
5	第5回 第二課、名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格変化など。																		
6	第6回 第二課の続き、haben、werdenの現在人称変化、「読章」、練習問題。																		
7	第7回 第二課の続き、練習問題。第三課、名詞の複数形、動詞の現在人称変化の特殊形など。																		

	8	第8回 第三課の続き、「読章」、練習問題。
	9	第9回 第四課、疑問代名詞、前置詞など。
	10	第10回 第四課の続き、前置詞と定冠詞の融合形、「読章」、練習問題。
	11	第11回 第四課の続き、練習問題。第五課、定冠詞類など。
	12	第12回 第五課の続き、否定疑問文、「読章」、練習問題。
	13	第13回 第五課の続き、練習問題。第六課、分離動詞など。
	14	第14回 第六課の続き、分離動詞、非分離動詞、従属接続詞など。
	15	第15回 第六課の続き、副文、「読章」、練習問題。
	16	第16回 前期末試験。
キーワード		
教科書・教材・参考書	「ミステリアスなドイツ文法」 荻野蔵平、Andrea Raab 著、朝日出版社	
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590017004	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (T6~10)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	T6~10		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 4月6日 テーマ:あいさつ(1)／人と知り合う／紹介(名前・出身地・居住地・職業・趣味) 文法:アルファベット／発音／人称代名詞／動詞の現在人称変化(規則動詞、sein)／疑問文の種類と答え方／疑問詞	
	2	第2回 4月13日 "	
	3	第3回 4月20日 "	
	4	第4回 4月27日 テーマ:時刻／あいさつ(2)／時を表す表現(1)／人を誘う／アドレスとケータイ番号を尋ねる ／食べ物と飲み物／メール 文法:動詞の現在人称変化(haben、不規則動詞)／ドイツ語の語順(定動詞第2位の原則、疑問文の語順)	
	5	第5回 5月11日 "	
	6	第6回 5月18日 "	
	7	第7回 5月25日 テーマ:道の尋ね方・答え方／位置・方向を表す語／建物など／～してください／持っている？ 持っていない？ 文法:duとSie／命令形／名詞の性／定冠詞と不定冠詞／冠詞と名詞の格変化(1・4格)／否定冠詞(1・4格)／ 所有冠詞(1・4格)	
	8	第8回 6月1日 "	
	9	第9回 6月8日 "	
	10	第10回 6月15日 "	
	第11回 6月22日 テーマ:買い物／値段／プレゼント／気に入った？／家族・親戚		

	11	文法:名詞と冠詞の3格/複数形/人称代名詞の格変化/前置詞(1)/否定の語を含む疑問文とその答え方
	12	第12回 6月29日 "
	13	第13回 7月6日 "
	14	第14回 7月13日 "
	15	第15回 7月20日 前期のまとめ(文法の補足等を含む)
	16	第16回目 7月27日または8月3日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得	
教科書・教材・参考書	「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」CD付き 飯田/江口 三修社 独和辞典は当面は不要。授業開始後必要に応じて紹介する。	
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。	
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月3																																		
開講期間																																					
必修選択	必	単位数	1.0																																		
時間割コード	20120590019006	科目番号	05900190																																		
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(L1～6_F1～3)																																				
編集担当教員	山下 哲雄																																				
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄																																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄																																				
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																																				
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																		
教室	[環]441																																				
対象学生(クラス等)	L1～6_F1～3																																				
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp																																				
担当教員研究室	非常勤講師控室																																				
担当教員TEL																																					
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間																																				
授業のねらい	初級文法を習得し、授業で憶えた語彙を使い、二人一組のパートナーに自分の一日の出来事をドイツ語で話し、パートナーがそれについての質問をし、さらにそれに答えることです。																																				
授業方法(学習指導法)	二人一組でドイツ語会話を繰り返し、音に慣れる。																																				
授業到達目標	学生がドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず滑らかに話すことができるようにすること。																																				
授業内容	<p>ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語であり、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードも授業に盛り込む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>現在完了形(1)</td></tr> <tr><td>2</td><td>現在完了形(2)</td></tr> <tr><td>3</td><td>分離動詞</td></tr> <tr><td>4</td><td>形容詞</td></tr> <tr><td>5</td><td>第1回から4回までの復習</td></tr> <tr><td>6</td><td>再起動詞・esの用法</td></tr> <tr><td>7</td><td>関係代名詞(1)</td></tr> <tr><td>8</td><td>関係代名詞(2)</td></tr> <tr><td>9</td><td>受動態</td></tr> <tr><td>10</td><td>第6回から9回までの復習</td></tr> <tr><td>11</td><td>接続法(1)</td></tr> <tr><td>12</td><td>接続法(2)</td></tr> <tr><td>13</td><td>分詞・zu不定詞</td></tr> <tr><td>14</td><td>第11回から13回までの復習</td></tr> <tr><td>15</td><td>ビデオでドイツを見る</td></tr> <tr><td>16</td><td>第16回 定期試験</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	現在完了形(1)	2	現在完了形(2)	3	分離動詞	4	形容詞	5	第1回から4回までの復習	6	再起動詞・esの用法	7	関係代名詞(1)	8	関係代名詞(2)	9	受動態	10	第6回から9回までの復習	11	接続法(1)	12	接続法(2)	13	分詞・zu不定詞	14	第11回から13回までの復習	15	ビデオでドイツを見る	16	第16回 定期試験
回	内容																																				
1	現在完了形(1)																																				
2	現在完了形(2)																																				
3	分離動詞																																				
4	形容詞																																				
5	第1回から4回までの復習																																				
6	再起動詞・esの用法																																				
7	関係代名詞(1)																																				
8	関係代名詞(2)																																				
9	受動態																																				
10	第6回から9回までの復習																																				
11	接続法(1)																																				
12	接続法(2)																																				
13	分詞・zu不定詞																																				
14	第11回から13回までの復習																																				
15	ビデオでドイツを見る																																				
16	第16回 定期試験																																				

キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』 著者：本郷建治 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590019007	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語 II (P1・2)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14:30-16:00		
授業のねらい	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業方法(学習指導法)	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業到達目標	ドイツ語検定4級合格		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	冠詞類	
	2	zu不定詞	
	3	分離動詞	
	4	話法の助動詞	
	5	過去形	
	6	現在完了形	
	7	受動態	
	8	形容詞の格変化	
	9	比較級と最上級	
	10	関係代名詞	
	11	命令形	
	12	接続法	
	13	会話練習	
	14	会話練習	
	15	まとめ	
16	試験		
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
	清野 智昭『ドイツ語の時間—読解編<読めると楽しい!>』都文堂 (2011)		

教科書・教材・参考書	辞書は講義中に指示(自分の判断で購入しないこと)
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況(30%) 講義中の取り組み方(30%) ○定期試験(40%)
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ	ドイツ語の基礎の基礎
学習・教育目標	独検5級合格
備考(URL)	http://h-semi.com/
備考(準備学習等)	予習、復習は必須



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590019008	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(E1~8)		
編集担当教員	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者)	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井 幹也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)	E5~10		
担当教員Eメールアドレス	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館524研究室		
担当教員TEL	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況(0.8~1.2)に反映させます。		
授業方法(学習指導法)	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業到達目標	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。練習問題などの予習が必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけることではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
	回	内容	
	1	動詞の三基本形、過去	
	2	現在完了	
	3	過去完了、未来完了	
	4	再帰動詞	
	5	zu不定詞	
	6	esの用法	
	7	比較	
	8	受動態	
	9	関係代名詞	
	10	指示代名詞	
	11	不定関係代名詞、関係副詞	
	12	接続法(1)	
	13	接続法(2)	

	14	ランデスクンデ
	15	総復習
	16	総復習と定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	小島／仲井『やあ、みんな！』同学社	
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8～1.2＝成績)従って授業をおろそかにする人は、試験が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してください。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590019005	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語 II (D1・2_K1~4)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟5		
対象学生(クラス等)	D1・2_K1~4		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	ドイツ語の初級文法を身につけ、ごく単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一の目的です。さらに、単なる試験科目としてではなく、異文化との関りや他者理解についての基本的視座を形成するための有効な方法として、言語学習に積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えています。		
授業方法(学習指導法)	基本的には教科書に沿って文法を説明し、練習問題の解答・解説を通して基礎を定着させます。適宜補足のための板書や資料配布を行います。		
授業到達目標	ドイツ語の基本的なしくみを理解し、辞書を用いながら平易な文の訳や作文ができるようになること。またあいさつや自己紹介など、ドイツ語で簡単な受け答えができるようになること。		
授業内容	授業の進め方は前期と同じです。教科書に沿って文法の学習を進めてゆきます。既習事項の復習や問題の答え合わせでは学生を指名して質問に答えてもらうので、油断せずに毎回復習と予習をして授業にのぞんでください。それでも外国語を学ぶ初期の段階で間違いや分からないところがあるのは当然です。難しければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	第1回(10月4日)復習。第8課(分離動詞、非分離動詞)。	
	2	第2回(10月11日)第8課続き(再帰代名詞、再帰動詞)。非人称主語のes。	
	3	第3回(10月18日)第9課(形容詞)。形容詞の語尾変化。	
	4	第4回(10月25日)第9課続き。形容詞の名詞化。形容詞の比較変化。	
	5	第5回(11月1日)第10課(動詞の3基本形)。	
	6	第6回(11月8日)第10課続き。過去人称変化。	
	7	第7回(11月15日)第11課(完了形)。	
	8	第8回(11月22日)第11課続き。不定代名詞man。	
	9	第9回(11月29日)第12課(受動態)。動作受動。自動詞の受動態。	
	10	第10回(12月6日)第12課続き。状態受動。zu不定詞。	
	11	第11回(12月13日)第12課続き。分詞。	
	12	第12回(12月20日)第13課(指示代名詞、関係代名詞)。	
13	第13回(1月10日)第13課続き。不定関係代名詞。		

	14	第14回(1月17日)復習問題。
	15	第15回(1月24日)一年のまとめ。接続法について。
	16	第16回(1月31日)定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		森公成、渡辺広佐「クヴェレ・ドイツ文法」(同学社)。
成績評価の方法・基準等		定期試験70%、平常点(遅刻の有無、授業態度等)30%の配分で評価します。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。

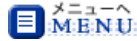


学期	後期	曜日・校時	金3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590019001	科目番号	05900190																				
授業科目名	●ドイツ語 II (M4～6)																						
編集担当教員	目 正勝																						
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]大教センター3F																						
対象学生(クラス等)	M4～6																						
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	096-322-0277																						
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける																						
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。																						
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																						
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																						
授業内容	<p>前期に引き続いて、テキストに従って進む。 動詞の3基本形をよく学習した上で、現在完了を学ぶ。分離動詞、形容詞の比較表現などを学んだ後、関係代名詞、受動態へと進む。仮定表現まで進んで、ドイツ語文法の全体像をつかむ。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 第八課、完了形・比較変化。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第八課の続き、比較変化など、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第九課、話法の助動詞・未来形・従属接続詞。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第九課の続き、従属接続詞など、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第十課、分離動詞・zu不定詞句。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第十課の続き、zu不定詞句など、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第十一課、再帰動詞・分詞。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第十一課の続き、分詞など、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第十二課、指示代名詞・関係代名詞。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 第八課、完了形・比較変化。	2	第2回 第八課の続き、比較変化など、練習問題。	3	第3回 第九課、話法の助動詞・未来形・従属接続詞。	4	第4回 第九課の続き、従属接続詞など、練習問題。	5	第5回 第十課、分離動詞・zu不定詞句。	6	第6回 第十課の続き、zu不定詞句など、練習問題。	7	第7回 第十一課、再帰動詞・分詞。	8	第8回 第十一課の続き、分詞など、練習問題。	9	第9回 第十二課、指示代名詞・関係代名詞。
回	内容																						
1	第1回 第八課、完了形・比較変化。																						
2	第2回 第八課の続き、比較変化など、練習問題。																						
3	第3回 第九課、話法の助動詞・未来形・従属接続詞。																						
4	第4回 第九課の続き、従属接続詞など、練習問題。																						
5	第5回 第十課、分離動詞・zu不定詞句。																						
6	第6回 第十課の続き、zu不定詞句など、練習問題。																						
7	第7回 第十一課、再帰動詞・分詞。																						
8	第8回 第十一課の続き、分詞など、練習問題。																						
9	第9回 第十二課、指示代名詞・関係代名詞。																						

	10	第10回 第十二課の続き、関係代名詞など、練習問題。
	11	第11回 第十三課、受動態、能動文と受動文。
	12	第12回 第十三課の続き、状態受動、練習問題。
	13	第13回 第十四課、接続法(1)、要求語法、間接語法。
	14	第14回 第十四課の続き、練習問題。第十五課、接続法(2)、非現実語法。
	15	第15回 第十五課の続き、非現実語法など、練習問題。
	16	第16回 後期末試験。
キーワード		
教科書・教材・参考書		「文法システム15 一新改訂版」 西本美彦、西本アンゲリカ、高田博行 著、同学社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590019003	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(T1~5)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター2F		
対象学生(クラス等)	T1~5		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で本文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 10月5日 形容詞の格変化、人称代名詞 空腹などを訴える	
	2	第2回 10月12日 "	
	3	第3回 10月19日 語法の助動詞、未来形 外出に誘う	
	4	第4回 10月26日 "	
	5	第5回 11月2日 分離動詞、再帰代名詞、再帰動詞 駅で列車の出発時刻などを尋ねる	
	6	第6回 11月9日 "	
	7	第7回 11月16日 ZU不定詞 相談にのってくれるように頼む 比較表現 物事を比べる	
	8	第8回 11月30日 "	
	9	第9回 12月7日 三基本形、過去人称変化、接続詞 ぶつぶつ文句を言う	
	10	第10回 12月14日 "	
	11	第11回 12月21日 現在完了形、過去完了形 何をしたかを尋ねる	
	12	第12回 12月27日 "	
	13	第13回 1月4日 受動形 招待される 関係文 休暇の計画を立てる	
	14	第14回 1月11日 "	
15	第15回 1月25日 後期のまとめ(文法の補足)		

	16 第16回目 2月1日または2月8日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書・教材・参考書	「新生ドイツ文法」 V6 在間進 朝日出版社
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1795秒です。



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金4																		
開講期間																					
必修選択	必	単位数	1.0																		
時間割コード	20120590019002	科目番号	05900190																		
授業科目名	●ドイツ語 II (M1～3)																				
編集担当教員	目 正勝																				
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																				
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																				
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																		
教室	[全]大教センター3F																				
対象学生(クラス等)	M1～3																				
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																				
担当教員研究室	非常勤講師室																				
担当教員TEL	096-322-0277																				
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける																				
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。																				
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																				
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																				
授業内容	<p>前期に引き続いて、テキストに従って進む。 語法の助動詞、形容詞の格変化を学習した後、動詞の三基本形へ進む。三基本形をよく覚えた上で、現在完了を学ぶ。受動態、関係代名詞、仮定表現まで進んで、ドイツ語文法の全体像をつかむ。 「読章」を訳しながら、文法の理解を深める。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 第七課、語法の助動詞、未来の助動詞。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第七課の続き、「読章」、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第七課の続き。第八課、形容詞の格変化、比較変化。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第八課の続き、比較変化など、「読章」、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第八課の続き、練習問題。第九課、再帰代名詞、再帰動詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第九課の続き、zu不定詞、非人称表現など。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第九課、「読章」、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第十課、動詞の三基本形、練習問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 第七課、語法の助動詞、未来の助動詞。	2	第2回 第七課の続き、「読章」、練習問題。	3	第3回 第七課の続き。第八課、形容詞の格変化、比較変化。	4	第4回 第八課の続き、比較変化など、「読章」、練習問題。	5	第5回 第八課の続き、練習問題。第九課、再帰代名詞、再帰動詞、練習問題。	6	第6回 第九課の続き、zu不定詞、非人称表現など。	7	第7回 第九課、「読章」、練習問題。	8	第8回 第十課、動詞の三基本形、練習問題。
回	内容																				
1	第1回 第七課、語法の助動詞、未来の助動詞。																				
2	第2回 第七課の続き、「読章」、練習問題。																				
3	第3回 第七課の続き。第八課、形容詞の格変化、比較変化。																				
4	第4回 第八課の続き、比較変化など、「読章」、練習問題。																				
5	第5回 第八課の続き、練習問題。第九課、再帰代名詞、再帰動詞、練習問題。																				
6	第6回 第九課の続き、zu不定詞、非人称表現など。																				
7	第7回 第九課、「読章」、練習問題。																				
8	第8回 第十課、動詞の三基本形、練習問題。																				

	9	第9回 第十課の続き、過去人称変化、年号の読み方など、練習問題。
	10	第10回 第十課の続き、「読章」、練習問題。第十一課、現在完了。
	11	第11回 第十一課、現在完了、受動態など、「読章」、練習問題。
	12	第12回 第十二課、関係代名詞など、練習問題。
	13	第13回 第十二課、不定関係代名詞など、「読章」、練習問題。
	14	第14回 第十三課、接続法第一式、間接話法、練習問題。
	15	第15回 第十三課の続き、非現実話法、外交的接続法、「読章」、練習問題。
	16	第16回 後期末試験。
キーワード		
教科書・教材・参考書		「ミステリアスなドイツ文法」 荻野蔵平、Andrea Raab 著、朝日出版社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。





シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590019004	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(T6~10)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター2F		
対象学生(クラス等)	T6~10		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で本文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 10月5日 テーマ:週末や休暇の予定/天候/一日の行動・日常生活 文法:分離動詞/前置詞と定冠詞の融合形/語法の助動詞/非人称のes/日常生活で使う分離動詞/分離動詞に似た使い方を表す表現/形容詞	
	2	第2回 10月12日 //	
	3	第3回 10月19日 //	
	4	第4回 10月26日 テーマ:過去のできごと(1)/時を表す表現(2) 文法:過去分詞/現在完了	
	5	第5回 11月2日 //	
	6	第6回 11月9日 //	
	7	第7回 11月16日 テーマ:過去のできごと(2)/位置の表現/~がある/遅刻/メルヒェン 文法:過去基本形/過去時制/前置詞(2)/es gibt...	
	8	第8回 11月30日 //	
	9	第9回 12月7日 テーマ:修理/家事/開店時間・閉店時間/料理/比較の表現 文法:受動文/再帰代名詞と再帰動詞/比較級・最上級	
	10	第10回 12月14日 //	
	11	第11回 12月21日 //	
12	第12回 12月27日 テーマ:ふたつの文をひとつにする/病気/色 文法:zu不定詞句/従属の接続詞と副文/関係文		

	13	第13回 1月4日	”
	14	第14回 1月11日	”
	15	第15回 1月25日	後期のまとめ(文法の補足)
	16	第16回目 2月1日または8日	定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得		
教科書・教材・参考書	「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」CD付き 飯田／江口 三修社		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590021006	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2D1・2_2T1～3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2D1・2_2T1～3		
担当教員Eメールアドレス	yamatsesu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
	回	内容	
	1	ビデオでドイツを紹介、自己紹介	
	2	自分の一日の生活	
	3	旅行	
	4	空港、駅の窓口	
	5	レストランで注文する	
	6	食事の勘定を支払う	
	7	ペンションを電話で予約する	
	8	郵便局はどこですか	
	9	この近くにスーパーはありますか	
	10	日本への手紙はいくらですか	
	11	そちらの天気はどうですか	
	12	雨が降れば、何をしますか	
	13	誕生日に辞書をプレゼントしたらいいから	
	14	カメラ店で	
	15	ドイツのお祝い	
16	定期試験		
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590021007	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2M(独1))		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2M(独1)		
担当教員Eメールアドレス	yamatsutsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
	回	内容	
	1	ビデオでドイツを紹介、自己紹介	
	2	自分の一日の生活	
	3	旅行	
	4	空港、駅の窓口	
	5	レストランで注文する	
	6	食事の勘定を支払う	
	7	ペンションを電話で予約する	
	8	郵便局はどこですか	
	9	この近くにスーパーはありますか	
	10	日本への手紙はいくらですか	
	11	そちらの天気はどうですか	
	12	雨が降れば、何をしますか	
	13	誕生日に辞書をプレゼントしたらいいかしら	
	14	カメラ店で	
	15	ドイツのお祝い	
16	定期試験		
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590021001	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2T4~10)		
編集担当教員	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2T4~10		
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	二時限目終了後(昼休み)		
授業のねらい	一年次に学習した初級ドイツ語を振り返るとともに、問題演習や会話練習で読む・聞く・書く・話すの四技能を伸ばす。教科書で取り上げられている話題を通して、ドイツの日常生活に触れる。		
授業方法(学習指導法)	ドイツ語の整然とした文法体系をすっきりと理解できるよう、段階を追って丁寧に授業する。基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。授業内での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ考察を深める。 		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、初級文法の復習(1)	
	2	初級文法の復習(2)	
	3	Lektion1 es gibt/es ist	
	4	Lektion1 es gibt/es ist	
	5	Lektion2 接続法	
	6	Lektion2 前綴り	
	7	Lektion3 造語法、序数と分数	
	8	Lektion3 形容詞の名詞化	
	9	前半のまとめ、中間試験	
	10	Lektion4 wissenとkennen、過去分詞	
	11	Lektion4 過去分詞、間節句	
	12	Lektion5 接頭辞と接尾辞、比較	
	13	Lektion5 従属接続詞	
	14	Lektion6 動詞の不定形	
	15	Lektion6 名詞文法、未来受動分詞	

	16 まとめと定期試験
キーワード	文法に則したドイツ語理解
教科書・教材・参考書	大谷弘道／大谷ウルズラ著『新 ドイツ読み方教室 中級表現練習読本』三修社、2010年
成績評価の方法・基準等	平素の学習成績(予習、発言、宿題など)50%、中間テスト25%、定期試験25%
受講要件(履修条件)	毎回出席(平素の取り組みを重視する)
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	「ことば」を通して自他を洞察する。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590021002	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2M(独2)_2K1~4)		
編集担当教員	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2M(独2)_2K1~4		
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	二時限目終了後(昼休み)		
授業のねらい	一年次に学習した初級ドイツ語を振り返るとともに、問題演習や会話練習で読む・聞く・書く・話すの四技能を伸ばす。教科書で取り上げられている話題を通して、ドイツの日常生活に触れる。		
授業方法(学習指導法)	ドイツ語の整然とした文法体系をすっきりと理解できるよう、段階を追って丁寧に授業する。基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。授業内での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ考察を深める。 		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、初級文法の復習(1)	
	2	初級文法の復習(2)	
	3	Lektion1 es gibt/es ist	
	4	Lektion1 es gibt/es ist	
	5	Lektion2 接続法	
	6	Lektion2 前綴り	
	7	Lektion3 造語法、序数と分数	
	8	Lektion3 形容詞の名詞化	
	9	前半のまとめ、中間試験	
	10	Lektion4 wissenとkennen、過去分詞	
	11	Lektion4 過去分詞、間節句	
	12	Lektion5 接頭辞と接尾辞、比較	
	13	Lektion5 従属接続詞	
	14	Lektion6 動詞の不定形	
	15	Lektion6 名詞文法、未来受動分詞	

	16 まとめと定期試験
キーワード	文法に則したドイツ語理解
教科書・教材・参考書	大谷弘道／大谷ウルズラ著『新 ドイツ読み方教室 中級表現練習読本』三修社、2010年
成績評価の方法・基準等	平素の学習成績(予習、発言、宿題など)50%、中間テスト25%、定期試験25%
受講要件(履修条件)	毎回出席(平素の取り組みを重視する)
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	「ことば」を通して自他を洞察する。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590021005	科目番号	05900210																				
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2E1~8)																						
編集担当教員	清原 明代																						
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代																						
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目																						
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]204																						
対象学生(クラス等)	2E~8																						
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスマワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。																						
授業のねらい	ドイツの時事問題を扱った教科書を読み進めることによってドイツ語初級から中級へのレベルアップを目指します。その上で、単にドイツ語という一つの言語の理解にとどまるのではなく、実際に世の中で起こっている(出来事)に関心をもち、書かれていることを理解するために辞書、文法書、背景となる知識(を得るための手段)、想像力と労力を惜しみなく使う意思と力を伸ばしていただきたいと思います。																						
授業方法(学習指導法)	教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。2回目以降は数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行ってまいります。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行ってください(授業内容・成績評価項目参照)。																						
授業到達目標	一見「今の自分には理解できない」と思える文に出会っても、とにかく辞書を引く、関連知識を得て文脈を予想するなど、あきらめずに様々なアプローチができるようになること。および初級文法の学習のみではカバーしきれない知識や定着していないと思われる事項を補完し、辞書を使えばある程度の文を自力で読めるようになること。																						
授業内容	<p>3回の授業で1章を終えるように進めます。各章とも最後に本文の内容および語句知識を問う確認問題が付属していますが、これらの問題は授業中にその場で指名した学生に解答してまいります。読解担当者以外も油断せず予習復習を行い、授業に参加してください。</p> <p>【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の(正しさ)よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価したいと考えています。間違っているところや分からないところがあるのは当然です。それらの点についてはオフィスマワー、および当該授業中にサポートしますので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回(4月5日)授業の説明。第1章【スポーツ/女子サッカーワールドカップ、なでしこジャパン世界一】。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回(4月12日)第1章続き。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回(4月19日)第1章続き、確認問題。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回(4月26日)第2章【スポーツ/F1最年少チャンピオン誕生】。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回(5月10日)第2章続き。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回(5月17日)第2章続き、確認問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回(5月24日)特別章【東日本大震災と福島原発事故、ドイツは原発廃止を決定】。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回(5月31日)特別章続き。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回(6月7日)特別章続き、確認問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回(4月5日)授業の説明。第1章【スポーツ/女子サッカーワールドカップ、なでしこジャパン世界一】。	2	第2回(4月12日)第1章続き。	3	第3回(4月19日)第1章続き、確認問題。	4	第4回(4月26日)第2章【スポーツ/F1最年少チャンピオン誕生】。	5	第5回(5月10日)第2章続き。	6	第6回(5月17日)第2章続き、確認問題。	7	第7回(5月24日)特別章【東日本大震災と福島原発事故、ドイツは原発廃止を決定】。	8	第8回(5月31日)特別章続き。	9	第9回(6月7日)特別章続き、確認問題。
回	内容																						
1	第1回(4月5日)授業の説明。第1章【スポーツ/女子サッカーワールドカップ、なでしこジャパン世界一】。																						
2	第2回(4月12日)第1章続き。																						
3	第3回(4月19日)第1章続き、確認問題。																						
4	第4回(4月26日)第2章【スポーツ/F1最年少チャンピオン誕生】。																						
5	第5回(5月10日)第2章続き。																						
6	第6回(5月17日)第2章続き、確認問題。																						
7	第7回(5月24日)特別章【東日本大震災と福島原発事故、ドイツは原発廃止を決定】。																						
8	第8回(5月31日)特別章続き。																						
9	第9回(6月7日)特別章続き、確認問題。																						

	10	第10回(6月14日)第3章【政治／国連安保理リビア制裁決議、ドイツは棄権】。
	11	第11回(6月21日)第3章続き。
	12	第12回(6月28日)第3章続き、確認問題。
	13	第13回(7月5日)第4章【政治／博士論文盗作スキャンダル、連邦国防相が辞任】。
	14	第14回(7月12日)第4章続き。
	15	第15回(7月19日)第4章続き、確認問題。
	16	第16回(7月26日)定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		アンドレア・ラーブ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2010/11(時事ドイツ語2012年度版)」(朝日出版社)。
成績評価の方法・基準等		基本は定期試験70%、平常点(遅刻の有無、授業態度等)30%の配分で評価します。授業に積極的に参加した学生、音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。
受講要件(履修条件)		特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞書を用意してください。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		必要があればその都度指示します。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590021003	科目番号	05900210																				
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2L1~3_2F1~3)																						
編集担当教員	目 正勝																						
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																						
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目																						
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]204																						
対象学生(クラス等)	2L1~3、2F1~3																						
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	096-322-0277																						
担当教員オフィスアワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしながら、応用段階へと進む。 多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。																						
授業方法(学習指導法)	テキストは中級ドイツ語への橋渡しのもの、文法の再確認、ドイツ語文の読解、そしてドイツ語表現の練習を内容としている。ドイツ人の一女性が成長してゆく過程の、各年代での生活風景が語られる。読者は話題を身近に感じることができるだろう。関連する独作文問題も適宜補足する。 教室では毎回4~5人の人に和訳をしてもらい、前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 できるだけ多くの人に練習問題の答えを発表してもらう。																						
授業到達目標	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。																						
授業内容	<p>テキストは11課に分かれている。前期は6課ぐらいまで。したがって大体2回から2回半の授業で1課を終えるペースで進む。</p> <p>それぞれの課の本文を、前もって当てておいた3~4人の人に訳してもらい、そして本文の後にある文法練習、表現練習、また本文の内容についての設問は、できるだけ多くの人に答える機会があるようにする。</p> <p>独作文の練習問題を適宜補足する。</p> <p>折に触れてレポートを課す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 第1課、Kasperle Theaterを読む。冠詞類の格変化、形容詞の語尾。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第1課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第1課のつづき、挨拶表現、数詞(基数)など。第2課、Faschingを読む。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第2課の続き、未来・話法の助動詞、形容詞の語尾、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第2課の続き、前置詞と定冠詞の融合。曜日と月、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第3課、Musik-Unterrichtを読む。非人称表現、命令表現、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第3課の続き、3・4格支配の前置詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第3課の続き、ローレライ、練習問題。第4課、Tanzstundeを読む。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第4課の続き、動詞の3基本形、過去、完了、分離動詞、非分離動詞、練習問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 第1課、Kasperle Theaterを読む。冠詞類の格変化、形容詞の語尾。	2	第2回 第1課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。	3	第3回 第1課のつづき、挨拶表現、数詞(基数)など。第2課、Faschingを読む。	4	第4回 第2課の続き、未来・話法の助動詞、形容詞の語尾、練習問題。	5	第5回 第2課の続き、前置詞と定冠詞の融合。曜日と月、練習問題。	6	第6回 第3課、Musik-Unterrichtを読む。非人称表現、命令表現、練習問題。	7	第7回 第3課の続き、3・4格支配の前置詞、練習問題。	8	第8回 第3課の続き、ローレライ、練習問題。第4課、Tanzstundeを読む。	9	第9回 第4課の続き、動詞の3基本形、過去、完了、分離動詞、非分離動詞、練習問題。
回	内容																						
1	第1回 第1課、Kasperle Theaterを読む。冠詞類の格変化、形容詞の語尾。																						
2	第2回 第1課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。																						
3	第3回 第1課のつづき、挨拶表現、数詞(基数)など。第2課、Faschingを読む。																						
4	第4回 第2課の続き、未来・話法の助動詞、形容詞の語尾、練習問題。																						
5	第5回 第2課の続き、前置詞と定冠詞の融合。曜日と月、練習問題。																						
6	第6回 第3課、Musik-Unterrichtを読む。非人称表現、命令表現、練習問題。																						
7	第7回 第3課の続き、3・4格支配の前置詞、練習問題。																						
8	第8回 第3課の続き、ローレライ、練習問題。第4課、Tanzstundeを読む。																						
9	第9回 第4課の続き、動詞の3基本形、過去、完了、分離動詞、非分離動詞、練習問題。																						

	10	第10回 第4課の続き、序数。第5課、Abiturfahrtを読む。
	11	第11回 第5課の続き、受動、状態受動、練習問題。
	12	第12回 第5課の続き、2格のs、先駆けのes、練習問題。
	13	第13回 第6課、Im Hörsaalを読む。再帰動詞、練習問題。
	14	第14回 第6課の続き、代名詞と前置詞の融合、練習問題。
	15	第15回 第6課の続き、動詞句など、練習問題。
	16	第16回 前期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		「初級総仕上げ 2度目のドイツ語」 木村クリスタ、立川希代子 著、白水社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。





シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590021004	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2P1・2)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	2P1・2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィサー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業方法(学習指導法)	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。		
授業内容	ドイツ語Ⅱまでの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノログやダイアログ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜聴き取り練習を行います。 この授業で使用する教科書は10課から成っており、ドイツ語Ⅲでは前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。 テーマ(場面・言語行為) ドイツ事情(読解テキスト) 復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、楽しみながら言語を使う課題があります。第1回目の授業は4月6日に始まり、第15回目の授業(7月20日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(7月27日または8月3日)は定期試験を実施します。ただし、クラスの規模や習熟度により予定が変わることがあります。 (成績評価の方法・基準等の補足) ○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. 各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。		
キーワード	パートナー練習 聴き取り練習 状況に応じた表現練習		
教科書・教材・参考書	[教科書] CD付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社		
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体的には授業内容欄に記載)		
	必要出席回数を上回る。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないこ		

受講要件(履修条件)	とがあります。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590023006	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2D1・2_2T1～3)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[環]441		
対象学生(クラス等)	2D1・2_2T1～3		
担当教員Eメールアドレス	yamatsesu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
	回	内容	
	1	第1回 パーティーには何を着ますか。	
	2	第2回 この白いワンピースをどう思いますか	
	3	第3回 このゴミはどこに捨てますか	
	4	第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト	
	5	第5回 ここで犬を放してはいけません	
	6	第6回 何歳になれば、何ができますか	
	7	第7回 ドイツの義務教育は何年ですか	
	8	第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません	
	9	第9回 ドイツの学校	
	10	第10回 復活祭には何をしますか	
	11	第11回 ドイツの祭りと祝日	
	12	第12回 カーニバル	
	13	第13回 ドイツと日本の年末年始	
	14	第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか	
	15	第15回 ビデオでドイツを見る	
16	定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590023007	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2M(独1))		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[環]441		
対象学生(クラス等)	2M(独1)		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
	回	内容	
	1	第1回 パーティーには何を着ますか。	
	2	第2回 この白いワンピースをどう思いますか	
	3	第3回 このゴミはどこに捨てますか	
	4	第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト	
	5	第5回 ここで犬を放してはいけません	
	6	第6回 何歳になれば、何ができますか	
	7	第7回 ドイツの義務教育は何年ですか	
	8	第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません	
	9	第9回 ドイツの学校	
	10	第10回 復活祭には何をしますか	
	11	第11回 ドイツの祭りと祝日	
	12	第12回 カーニバル	
	13	第13回 ドイツと日本の年末年始	
	14	第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか	
	15	第15回 ビデオでドイツを見る	
16	定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590023001	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2T4~10)		
編集担当教員	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]42講義室		
対象学生(クラス等)	2T4~10		
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	二時限目終了後(昼休み)		
授業のねらい	一年次に学習した初級ドイツ語を振り返るとともに、問題演習や会話練習で読む・聞く・書く・話すの四技能を伸ばす。教科書で取り上げられている話題を通して、ドイツの日常生活に触れる。		
授業方法(学習指導法)	ドイツ語の整然とした文法体系をすっきりと理解できるよう、段階を追って丁寧に授業する。基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。授業内での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ考察を深める。 		
授業内容	回	内容	
	1	前期[ドイツ語3]の復習(1)	
	2	前期[ドイツ語3]の復習(2)	
	3	Lektion7 wasの用法	
	4	Lektion7 訳しにくい動詞と名詞	
	5	Lektion8 文の構造、接続法と直説法	
	6	Lektion8 接続法と直説法、形容詞の名詞化	
	7	Lektion9 機能動詞	
	8	Lektion9 機能動詞	
	9	前半のまとめ、中間試験	
	10	Lektion10 動詞の名詞化	
	11	Lektion10 指示代名詞	
	12	Lektion11 定関係代名詞	
	13	Lektion11 語法の助動詞、従属接続詞	
	14	Lektion12 過去分詞	
15	Lektion12 過去分詞		

	16 まとめと定期試験
キーワード	文法に則したドイツ語理解
教科書・教材・参考書	大谷弘道／大谷ウルズラ著『新 ドイツ読み方教室 中級表現練習読本』三修社、2010年
成績評価の方法・基準等	平素の学習成績(予習、発言、宿題など)50%、中間テスト25%、定期試験25%
受講要件(履修条件)	毎回出席(平素の取り組みを重視する)
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	「ことば」を通して自他を洞察する。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590023002	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2M(独2)_2K1~4)		
編集担当教員	田口 武史		
授業担当教員名(科目責任者)	田口 武史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田口 武史		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]42講義室		
対象学生(クラス等)	2M(独2)_2K1~4		
担当教員Eメールアドレス	tataguchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	二時限目終了後(昼休み)		
授業のねらい	一年次に学習した初級ドイツ語を振り返るとともに、問題演習や会話練習で読む・聞く・書く・話すの四技能を伸ばす。教科書で取り上げられている話題を通して、ドイツの日常生活に触れる。		
授業方法(学習指導法)	ドイツ語の整然とした文法体系をすっきりと理解できるよう、段階を追って丁寧に授業する。基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。授業内での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ考察を深める。 		
授業内容	回	内容	
	1	前期[ドイツ語3]の復習(1)	
	2	前期[ドイツ語3]の復習(2)	
	3	Lektion7 wasの用法	
	4	Lektion7 訳しにくい動詞と名詞	
	5	Lektion8 文の構造、接続法と直説法	
	6	Lektion8 接続法と直説法、形容詞の名詞化	
	7	Lektion9 機能動詞	
	8	Lektion9 機能動詞	
	9	前半のまとめ、中間試験	
	10	Lektion10 動詞の名詞化	
	11	Lektion10 指示代名詞	
	12	Lektion11 定関係代名詞	
	13	Lektion11 語法の助動詞、従属接続詞	
	14	Lektion12 過去分詞	
15	Lektion12 過去分詞		

	16 まとめと定期試験
キーワード	文法に則したドイツ語理解
教科書・教材・参考書	大谷弘道／大谷ウルズラ著『新 ドイツ読み方教室 中級表現練習読本』三修社、2010年
成績評価の方法・基準等	平素の学習成績(予習、発言、宿題など)50%、中間テスト25%、定期試験25%
受講要件(履修条件)	毎回出席(平素の取り組みを重視する)
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	「ことば」を通して自他を洞察する。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590023005	科目番号	05900230																				
授業科目名	●ドイツ語IV(2E1～8)																						
編集担当教員	清原 明代																						
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代																						
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目																						
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]新棟5																						
対象学生(クラス等)	2E1～8																						
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスパワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。																						
授業のねらい	ドイツの時事問題を扱った教科書を読み進めることによってドイツ語初級から中級へのレベルアップを目指します。その上で、単にドイツ語という一つの言語の理解にとどまるのではなく、実際に世の中で起こっている(出来事)に関心をもち、書かれていることを理解するために辞書、文法書、背景となる知識(を得るための手段)、想像力と労力を惜しみなく使う意思と力を伸ばしていただきたいと思います。																						
授業方法(学習指導法)	教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。毎回数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行ってもらいます。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っていただきます(授業内容・成績評価項目参照)。																						
授業到達目標	一見「今の自分には理解できない」と思える文に出会っても、とにかく辞書を引く、関連知識を得て文脈を予想するなど、あきらめずに様々なアプローチができるようになること。および初級文法の学習のみではカバーしきれない知識や定着していないと思われる事項を補完し、辞書を使えばある程度の文を自力で読めるようになること。																						
授業内容	<p>授業の進め方は前期と同じです。3回の授業で1章を終えるように進めます。各章とも最後に本文の内容および語句知識を問う確認問題が付属していますが、これらの問題は授業中にその場で指名した学生に解答してもらいます。読解担当者以外も油断せず予習復習を行い、授業に参加してください。</p> <p>【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の(正しさ)よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価したいと考えています。間違っているところや分からないところがあるのは当然です。それらの点についてはオフィスパワー、および当該授業中にサポートしますので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回(10月4日)第5章【経済/食品ダイオキシン汚染、畜産農家に大打撃】。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回(10月11日)第5章続き。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回(10月18日)第5章続き、確認問題。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回(10月25日)第6章【経済/腸管出血性大腸菌O104、原因食はエジプト産スプラウト】。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回(11月1日)第6章続き。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回(11月8日)第6章続き、確認問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回(11月15日)第7章【社会/子どもたちの緑化運動】。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回(11月22日)第7章続き。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回(11月29日)第7章続き、確認問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回(10月4日)第5章【経済/食品ダイオキシン汚染、畜産農家に大打撃】。	2	第2回(10月11日)第5章続き。	3	第3回(10月18日)第5章続き、確認問題。	4	第4回(10月25日)第6章【経済/腸管出血性大腸菌O104、原因食はエジプト産スプラウト】。	5	第5回(11月1日)第6章続き。	6	第6回(11月8日)第6章続き、確認問題。	7	第7回(11月15日)第7章【社会/子どもたちの緑化運動】。	8	第8回(11月22日)第7章続き。	9	第9回(11月29日)第7章続き、確認問題。
回	内容																						
1	第1回(10月4日)第5章【経済/食品ダイオキシン汚染、畜産農家に大打撃】。																						
2	第2回(10月11日)第5章続き。																						
3	第3回(10月18日)第5章続き、確認問題。																						
4	第4回(10月25日)第6章【経済/腸管出血性大腸菌O104、原因食はエジプト産スプラウト】。																						
5	第5回(11月1日)第6章続き。																						
6	第6回(11月8日)第6章続き、確認問題。																						
7	第7回(11月15日)第7章【社会/子どもたちの緑化運動】。																						
8	第8回(11月22日)第7章続き。																						
9	第9回(11月29日)第7章続き、確認問題。																						

	10	第10回(12月6日)第8章【社会／欧州一の長寿番組、30周年直前に事故】。
	11	第11回(12月13日)第8章続き。
	12	第12回(12月20日)第8章続き、確認問題。
	13	第13回(1月10日)第9章【文化／独中友好特別展、早期打ち切りの危機】。
	14	第14回(1月17日)第9章続き。
	15	第15回(1月24日)第9章続き、確認問題。
	16	第16回(1月31日)定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		アンドレア・ラーブ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2010/11(時事ドイツ語2012年度版)」(朝日出版社)。
成績評価の方法・基準等		基本は定期試験70%、平常点(遅刻の有無、授業態度等)30%の配分で評価します。授業に積極的に参加した学生、音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。
受講要件(履修条件)		特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞書を用意してください。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		必要があればその都度指示します。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」

シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590023003	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2L1～3、2F1～3)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)	2L1～3、2F1～3		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィスパワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしながら、応用段階へと進む。 多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。		
授業方法(学習指導法)	テキストは中級ドイツ語への橋渡しのもの、文法の再確認、ドイツ語文の読解、そしてドイツ語表現の練習を内容としている。ドイツ人の一女性が成長してゆく過程の、各年代での生活風景が語られる。読者は話題を身近に感じることができるだろう。関連する独作文問題も適宜補足する。 教室では毎回4～5人の人に和訳をしてもらい、前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 できるだけ多くの人に練習問題の答えを発表してもらう。		
授業到達目標	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
授業内容	後期は7課から始めて11課まで読む。大体2回半～3回の授業で1課を終えるペースで進む。 それぞれの課の本文を、前もって当てておいた3～4人の人に訳してもらい、そして本文の後にある文法練習、表現練習、また本文の内容についての設問は、できるだけ多くの人に答える機会があるようにする。 独作文の練習問題を適宜補足する。 折に触れてレポートを課す。		
	回	内容	
	1	第1回 第7課、Bayreuther Festspieleを読む。関係代名詞、練習問題。	
	2	第2回 第7課の続き、不定関係代名詞、関係副詞、練習問題。	
	3	第3回 第7課の続き、不定関係代名詞を含む文、練習問題。	
	4	第4回 第8課、Europaを読む。副文、接続詞、練習問題。	
	5	第5回 第8課の続き、合成名詞の性、練習問題。	
	6	第6回 第8課の続き、補足練習問題。	
	7	第7回 第9課、Hochzeitsreiseを読む。zu不定詞、練習問題。	
	8	第8回 第9課の続き、zu不定詞を含む文、練習問題。	
	9	第9回 第9課の続き、補足練習問題。	

	10	第10回 第10課、Der größte Adventskalenderを読む。形容詞と副詞の比較級、練習問題。
	11	第11回 第10課の続き、絶対最上級と絶対比較級、練習問題。
	12	第12回 第10課の続き。時刻表現、補足練習問題。
	13	第13回 第11課、Zukunftstraumを読む。接続法、練習問題。
	14	第14回 第11課の続き、接続法第二式、練習問題。
	15	第15回 第11課の続き、補足練習問題。
	16	第16回 後期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		「初級総仕上げ 2度目のドイツ語」 木村クリスタ、立川希代子 著、白水社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。





シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590023004	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2P1・2)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター2F		
対象学生(クラス等)	2P1・2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(教育支援課)		
担当教員オフィスマワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業方法(学習指導法)	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅲまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化をより幅広く説明できるようになることです。		
授業内容	ドイツ語Ⅲまでの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノログやダイアログ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜聴き取り練習を行います。 この授業で使用する教科書は10課から成っており、ドイツ語Ⅳでは後半10課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。 テーマ(場面・言語行為) ドイツ事情(読解テキスト) 復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、楽しみながら言語を使う課題があります。第1回目の授業は10月5日に始まり、第15回目の授業(1月25日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(2月1日または2月8日)は定期試験を実施します。ただし、クラスの規模や習熟度により予定が変わることがあります。 (成績評価の方法・基準等の補足) ○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. 各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。		
キーワード	パートナー練習 聴き取り練習 状況に応じた表現練習		
教科書・教材・参考書	[教科書]CD付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社		
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体的には授業内容欄に記載)		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		

本科目の位置づけ	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.